

2025年 第4回 須坂市水道料金等審議会 議事録(要旨)

○ 開催日時場所

2025年10月8日(水) 午後2時～午後3時45分

須坂市防災活動センター 活動室1

○ 出席者

委員(9名) 耳塚委員、篠塚委員、中村委員、藤沢委員、永田委員、中澤委員、竹前委員、杉田委員 代理 中込様、吉川委員
幹事(2名) 勝山水道局長、村上上下水道課長
書記(6名) 萩原課長補佐、平林課長補佐、宮川(滋)係長、丸山主査、關主任主事、富澤(一)課長補佐
委託事業者(2名) 株式会社ぎょうせい 担当者2名

○ 傍聴人

市民1名

○ 配付資料

会議次第

須坂市水道料金等審議会委員名簿

第3回水道料金等審議会議事録

水道料金算定要領に基づく須坂市水道料金表の検討

○ 会議の状況

- 1 開会(村上上下水道課長)
- 2 水道局長あいさつ(勝山局長)
- 3 会長あいさつ(耳塚会長)
- 4 審議(進行 耳塚会長)
- 5 審議状況

(1) 第3回審議会議事録について

(2) 水道料金算定要領に基づく須坂市水道料金表の検討

事務局より説明を行った。

これに対し、委員から出された意見・質問の概要は次のとおりである。

委 員 前回の審議を経て、須坂市としては基本料金を上げる方向性で進めていく。本日の議論である程度の着地点を見出したい。

委 員 前回の内容を踏まえて再度ケース別の違いを説明されたい。

事務局 ケース6はケース2と3の折衷案、ケース7、8は口径別基本料金体系を前提とした考えをお示しました。ケース7と8の違いは、従量料金体系の遅増度を変更するかどうかとなります。

委 員 ケース8は少量利用者には優しいと感じた。従量料金は高くなるが、考えとしては理解できる。ケース7と比較すると1,001m³以上の単価が変わらないとしても、ケース8が妥当だと思われる。

委 員 料金の値上げは止むを得ないと思うが、各家庭でいくら値上がりするかという具体的な数字の根拠までわかれれば、より理解を深めてもらえると感じる。

委 員 料金の値上げは止むを得ないと思う。今後周知の仕方等は工夫して行ってもらいたい。

委 員 今後遅増度を1に近づけるということは、215円に近づけるということか。

事務局 最大値を最小値に近づけるか、最小値を最大値に近づけるか、もしくはその他とするかは現状では未定です。

委 員 水道事業は独立採算という性格上、値上げは理解できる。今月開業したイオンモール須坂からの収入はどれくらいを見込んでいるのか。

事務局 イオンモール須坂を含めた開発当時の全体計画の説明では年間約3,700万円くらいの収入を見込んでいます。

委 員 インフラ維持のためには「使用する」ということも大事なことと理解した。節水も当然であるが、ケース8では農業等で大量に使用する方にも考慮されていると感じた。

事務局 今年は猛暑の影響で水不足も全国的には懸念されたが、須坂市においては水不足はほぼありませんでした。

委 員 ケース7か8が妥当だと感じる。ただし営業用の観点から考えると、ケース7の方が事業者にとっては良い。また、水源の確保という面では、前段階での森林維持に関する観点も市には意識してもらいたい。

事務局 水源近くの森林に外資が入る可能性は少ないが、水源の確保、森林維持の取り組みは大切なことと考えています。

委 員 意見として、口径13mmと20mmの基本料金に関しては、過去の経過も理解はできるが個人が主体的に選択していないこともあり、差を設けなくてもいいのではないかと感じている。従量制は理解できるが、子供がいる家庭に対しては特別割引があってもいいのではないか。

事務局 子供がいる家庭に対しては、水道事業以外の児童手当等に加えて現状口径13mmは長野県内では安い方であり、その面でも配慮はされていると考えています。

委 員 P14 ケース8の遞増度を1.3⇒1.1にする可能性はあるか。

事務局 基本料金と従量料金のバランスが崩れる可能性はあるが、次回試算結果を提示いたします。

委 員 次回はモデルケース7、8、委員から提案の遞増度1.3⇒1.1を案として作成する。事前に資料を送付するので、意見をまとめた上で最終集約をしたい。

6 その他

事務局 次回の第5回審議会は11月12日(水)午後2時より、305会議室にて開催します。

7 閉会(村上上下水道課長)